

# きのこ・ながさき



( アリノタイマツ )

# 24

令和6年3月  
長崎きのこ会

# 会長挨拶

長崎きのこ会 会長 山川 統

3月4日の総会・スライド学習会、シイタケ駒打ち作業(長崎県民の森主催事業)の手伝いを行い、今年もほぼ月1回のペースで定例観察会を行いました。

長崎市で採取したシイトモシビタケと白色シイトモシビタケ?(アルビノ)が同一種なのかを調べるためにDNA解析を依頼しましたが、白色シイトモシビタケ?(アルビノ)の解析はできたのですが、シイトモシビタケができませんでした。今年も発生すれば、依頼したいと思います。また、シイトモシビタケのDNA解析のデータがないか調べたいと思います。今年も新たなきのこの出会いだけでなく、参加者との交流を楽しめた1年になりました。

定例観察会で観察した代表的なきのことして、ハナビラニカワタケ・フクロシトネタケ?(オオシトネタケ?)(3月、長崎県民の森)、ハダイロシメジ(青木仮称)?(5月、長崎県民の森)、フチドリモミウラタケ近縁種?・キリンタケの仲間・キヒダシメジ?(6月、長崎県民の森)、クロアザアワタケ・クロアワタケ・ヌメリアシナガイグチ(仮称)・ヒナツチガキ・コマタケ(7月、上山公園)、真菌が寄生?したピンク色のススホコリ・ヒメコウジタケ(8月、狸ノ尾ため池水源の森)、ヒイロハリタケ・フジウスタケ(8月、白雲の池)、チャオニテングタケ・ナナフシテングノメシガイ・コウボウフデ・ソライロタケ・コショウイグチ(9月、長崎県民の森)、アオネノヤマイグチ・アカモミタケ・フェムスジョウタケ(10月、修多羅の森)がありました。

令和2年から計画していた西日本きのこ交流会(佐賀きのこ会と合同、コロナで延期)を7月8日~9日、悪天でしたが無事に実施できました。中心になって計画された佐賀きのこ会のおかげだと思います。感謝、申し上げます。

本会はきのこを探し、写真を撮り、時には食べて楽しむだけでなく、きのこを通して自然とふれ合い、仲間との交流を深めることに重きを置いています。そして、地域社会へ貢献することを願っています。今後も写真展やメディアの取材を通して、きのこの魅力を伝えていきたいと思います。

この冊子は令和5年の長崎きのこ会の活動を中心にまとめました。皆様のお役に立つことができれば幸いです。

長崎きのこ会創設から活動の中心でおられた前会長が、1月29日にご逝去されました。心よりお悔み申し上げます。

---

## 目 次

令和5年 長崎きのこ会活動結果	2
定例観察会(第1~10回)	
西日本きのこ交流会を振り返って	23
長崎のきのこ写真展	24
長崎ブリックホール、長崎県民の森「森林館」	
森永鉄美氏(前会長)を偲んで	25
【会員の広場】	
令和5年に出会ったきのこたち	山川 統
長崎県生物学会第53回大会 口頭発表レジュメ	29
令和5年に観察した主なきのこ	
令和6年 きのこ観察計画	30
長崎きのこ会役員	30
友好きのこ会の会報・機関誌等	31
きのこの賑わい	32

---